

令和5年度
第1回館林市「日本遺産」推進協議会
議案書



議案第 1 号

令和 4 年度事業報告について

期日	事業内容	備考
令和 4 年度	各事業実施 <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成事業 ・普及啓発事業 ・情報発信事業 ・活用整備事業 	別紙「令和 4 年度 主要事業報告」の とおり
6月21日	第 1 回館林市「日本遺産」推進協議会(全議案全員承認) 議案第 1 号 令和 3 年度事業報告について 議案第 2 号 令和 3 年度収支決算報告について 議案第 3 号 会長の選任について 議案第 4 号 副会長・監事の選任について	通常開催
10月26～30日	第 8 回群馬フェア2022inイオンモール太田 <ul style="list-style-type: none"> ・ブース出展等による「里沼」PR 	群馬県太田市 イオンモール太田
10月29～30日	日本遺産フェスティバルin関門 <ul style="list-style-type: none"> ・ブース出展等による「里沼」PR 	山口県下関市・福岡県北九州市 海峡メッセ下関
1月29日	日本遺産「里沼」セミナー「日本遺産を活かしたまちづくり」 <ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産「里沼」近況報告 ・近隣の日本遺産認定地の事例紹介 栃木県宇都宮市、茨城県笠間市、埼玉県行田市	館林市文化会館 小ホール
2月5日	両毛 3 市連携日本遺産シンポジウムin足利 ～人を育み“日本”を支える 両毛 3 都～ <ul style="list-style-type: none"> ・両毛 3 市長パネルディスカッション ◆テーマ：日本遺産で人を育み合おう	栃木県足利市 栃木県南地場産業 振興センター
2月11～13日	日本遺産の日記念イベント <ul style="list-style-type: none"> ・ブース出展等による「里沼」PR 	東京都千代田区 JR有楽町駅前広場
3月	第 2 回館林市「日本遺産」推進協議会 議案第 1 号 令和 5 年度事業計画について 議案第 2 号 令和 5 年度収支予算について 報告事項その 1 日本遺産「里沼」の近況報告について 報告事項その 2 日本遺産「里沼」の情報発信拠点について	書面開催

■歴史文化部会

1 「里沼」ランドナビゲーター育成支援事業【人材育成事業：文化振興課】

<p>概要</p>	<p>既存ガイド団体等と連携しながら、活動者に館林市の魅力を発信し、市内観光を総合的にプロデュースする人材を育成する事業。</p> <p>(1)日本遺産「里沼」と館林市の紹介(館林市観光ボランティアガイドの会作成) R元年度からR3年度にかけて館林市観光ボランティアガイドの会が開催した散策講座のノウハウを蓄積したガイドコース及び案内シートを自主作成した。</p> <p>(2)里沼ランドナビゲーター育成講座テキスト印刷 R3年度「里沼」構成文化財に追加認定された4項目「㊸蛇沼及び間堀遺跡出土品」・「㊹近藤沼(ホリアゲタ)」・「㊺長良神社と館林城下町の総構え」・「㊻織姫神社と館林紬」を反映した里沼ガイド講習会「ガイドの手引き」テキストを作成し、活動者へ配付した。 ■発行:100部、A4×54頁(オールカラー)</p> <p>(3)里沼ランドナビゲーター用ユニフォーム製作 日本遺産「里沼」ランドナビゲーターが専属で使用するユニフォーム(ブルゾン及びキャップ)を製作。統一デザイン及びカラーで視認性を高め、「里沼」ランドナビゲーターとしての意識向上に繋げる。</p> 
<p>事業費</p>	<p>498,300円</p>

2 館林市「日本遺産」地域プロデューサー活動支援事業【人材育成事業：文化振興課】

<p>概要</p>	<p>情報発信・地域活性化・人材育成・観光・地場産業・歴史文化・地域特色(沼辺)における全7分野の事業展開を促進するため、館林市「日本遺産」地域プロデューサーの活動を支援する事業。</p> <p>(1)日本遺産「里沼」子ども向け読本増刷業務 地域プロデューサー 橋本氏による市内小学生(主に3・4年生)向けの日本遺産「里沼」読本を増刷し、市内小学生の「里沼」認知度向上に繋がった。</p> <p>未来の館林市を担う子どもたちに読本を配付することで「里沼」への理解を深めながら、将来自分が「里沼」で何ができるかを考えるきっかけをつくることができた。その甲斐もあり令和4年10月-11月にかけて市内小中学生を対象にした「里沼」認知度調査では、87.29%という驚くべき数値を記録した。着実に子どもたちへ「里沼」が浸透していることが証明された。 ■発行:8,000部、A4×8頁(オールカラー)</p>
-----------	---

(2)両毛3市連携日本遺産カード印刷

令和4年度日本遺産連盟にて作成した日本遺産カードを両毛3市連携日本遺産シンポジウムin足利及び日本遺産の日イベント等に合わせて配布するために作成した。

※令和5年2月5日(日)両毛3市連携日本遺産シンポジウムin足利、2月11日(土・祝)から13日(月)にかけてJR有楽町駅前広場にて開催された日本遺産の日イベント等で一般配布した。



事業費 708,384円

3 官学連携「SATO-NUMA」事業【人材育成事業：文化振興課】

まちづくり・観光系学部がある大学(学生・留学生)と連携し、若者・外国人の意見を反映させながら、解説方法・内容を検討するワークショップを行う事業。

(1)東京電機大学との連携事業(「里沼のもてなし文化エリア」ガイドマップ修正)

館林市に存在する日本遺産「里沼」構成文化財への来訪者誘致及び市内エリア回遊性の強化を目指し、「里沼」とそのストーリーの魅力を伝える人材の育成・充実を図るもの。東京電機大学教員・学生により「里沼のもてなし文化エリア」ガイドマップの発行に向けたデータを修正するもの。また、拡張現実を用いた日本遺産「里沼」構成文化財解説システム(AR里沼)の利用率強化に向けた普及の一端として実施する「スタンプラリー」用PRチラシの編集・作成も合わせて実施した。

概要



事業費 150,000円

4 館林市「日本遺産」展示会開催事業【普及啓発事業：文化振興課】

<p>概要</p>	<p>日本遺産「里沼」PR、ストーリー普及を目的とし、市内外で移動展示会を開催した。また日本遺産「里沼」構成文化財のひとつ『旧館林二業見番組合事務所』特別公開にて展示会を開催し、来訪者への「里沼」ストーリーの普及に努めた。</p> <p>(1)移動展示会 全12箇所 見学者合計45,600名</p> <p>①館林市第二資料館 [令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)] (9,100名) ②鷹匠町武家屋敷「武鷹館」[令和4年4月1日(金)～令和4年11月13日(日)] (4,200名) ③館林紬イベント [令和4年5月4日(水)] つつじが岡公園大芝生広場(1,000名) ④文化会館市民サロン展示 [令和4年5月18日(水)～令和5年3月31日(金)] (1,000名) ⑤七夕まつり [令和4年8月7日(日)] 館林市内下町通り(500名) ⑥旧館林二業見番組合事務所特別公開 [令和4年10月10日(月)] (100名) ⑦子ども科学館「里沼」展示 [令和4年10月10日(月)～令和5年3月31日(金)] (10,000名) ⑧第8回群馬フェア [令和4年10月26日(水)～30日(日)] イオンモール太田1階(ブース来場者15,000名) ⑨日本遺産フェスティバルin関門 [令和4年10月29日(土)・30日(日)] 海峡メッセ下関4階他(ブース来場者数1,300名) ⑩千百年を紡ぐ八王子織物展 [令和5年1月28日(土)・29日(日)] 東京たま未来メッセ(1,500名) ⑪両毛3市連携日本遺産イベント [令和5年2月5日(日)] 栃木県南地場産業振興センター(100名) ⑫日本遺産の日イベント [令和5年2月11日(土)～13(月)]東京JR有楽町駅前広場(ブース来場者1,800名)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
<p>事業費</p>	<p>1,158,900円</p>

5 館林市「日本遺産」シンポジウム開催事業【普及啓発事業：文化振興課】

令和4年度より新たに「里沼」セミナーと題して、関東地域の日本遺産認定地(栃木県宇都宮市・茨城県笠間市・埼玉県行田市)職員を講師として招き事例紹介を行った。
また、令和2年度から引続き、館林市の近隣で日本遺産に認定となっている両毛地域3市の群馬県桐生市・栃木県足利市と連携して今後の日本遺産の魅力発信につなげるための意見交換を行った。

(1)日本遺産「里沼」セミナー「日本遺産を活かしたまちづくり」開催

■内容:

- ①アトラクション「里沼の記憶」 解説:滝沢昌之氏(作曲家)
- ②日本遺産「里沼」の近況報告 報告:館林市教育委員会文化振興課
- ③近隣の日本遺産認定地の事例紹介

①栃木県宇都宮市

「日本遺産を活用した地域活性化の取組み～大谷石文化の息づくまち宇都宮～」

②茨城県笠間市

「シリアル型認定「かさましこ」の取組みについて」

③埼玉県行田市

「足袋蔵を活かしたまちづくり～足袋とくらしの博物館を中心に～」

■期日:令和5年1月29日(日)14:00-16:20 ■会場:館林市文化会館小ホール

■参加者:73名

(2)両毛3市連携日本遺産シンポジウムin足利開催

■内容:

- ①両毛3市の日本遺産ストーリー映像紹介
- ②アトラクション 足利カンマーオーケスター弦楽五重奏
- ③両毛3市長パネルディスカッション

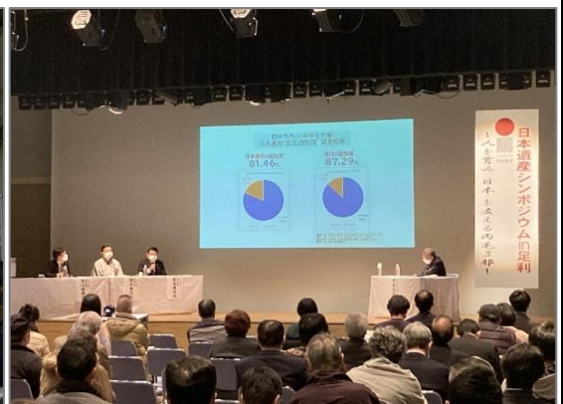
コーディネーター:熊倉浩靖氏(館林市「日本遺産」推進協議会委員/高崎商科大学特任教授)
パネリスト:多田善洋氏(館林市「日本遺産」推進協議会会長/館林市長)、荒木恵司氏(桐生市長)、早川尚秀氏(足利市長)

両毛3市日本遺産PRブース

■期日:令和5年2月5日(土)10:00-16:00 ■会場:栃木県南地域地場産業振興センター

■参加者:120名

概要



事業費 1,432,961円

6 館林市「日本遺産」Webサイト開設事業【情報発信事業：文化振興課】

概要	<p>館林市「日本遺産」Webサイトを開設し、ストーリーや構成文化財の諸情報のほか、観光やアクセスマップ及び利便施設などの関連情報を公開し、国内外に向けて積極的なPRを実施する事業。令和2・3年度で英語、繁体字、簡体字、タイ語、スペイン語の多言語化し、地域活性化計画に位置付けたターゲットへの対応が完了した。令和4年度は、サイト上での動画・パンフレットデータのアップロードを充実させた。また、「里沼」投稿サイト構築に向けたシステム検討を進める。</p> <p>里沼公式WEBサイトコンテンツ構築事業</p> <p>■内容:令和元年度に開設した日本遺産「里沼」公式WEBサイト(通称「SATO-NUMA.JP」)を多言語化(英語・繁体字・簡体字・タイ語・スペイン語)し、海外からの来訪者に対しストーリーや構成文化財の情報を分かりやすく公開するとともに、既に公開している観光やアクセスマップ及び利便施設などの関連コンテンツを構築することにより、国内外に向けて最新の情報を積極的にPRした。WEBサイトでは、館林市「里沼」の魅力や特色が十分伝わり、必要な情報がどこにあるのか分かりやすく、見やすい構成・ユニバーサルなデザインであること目指し、トップページ以下、「里沼とは?」「館林の里沼」「里沼を巡る」「里沼を遊ぶ」「みんなの里沼」「お知らせ」の階層を設け、可能な限り画像を多くかつ効果的に使用し、閲覧者の視覚に訴えることに重点を置き、動画の配信にも対応した。</p> <p>■期間:令和5年3月6日(月)～3月24日(金)</p> <p>■サイト名:日本遺産「里沼」公式WEBサイト(通称「SATO-NUMA.JP」)</p> <p>■URL:https://sato-numa.jp/</p>  
事業費	429,004円

8 案内板・サイン整備改修事業【活用整備事業：文化振興課】

概要	<p>来訪者が「里沼」のストーリーや各構成文化財について理解を深められるように案内板等を整備する事業。</p> <p>(1)青龍の井戸サイン改修委託業務</p> <p>日本遺産「里沼」構成文化財のひとつ清龍神社「青龍の井戸」サインを日本遺産「里沼」案内サインとして改修し、QRコードを活用した「里沼」公式Webサイトとの連動による情報発信を図った。</p> <p>(2)日本遺産「里沼」構成文化財サイン設置工事</p> <p>“守りの沼”＝城沼を物語る尾曳稲荷神社と長良神社に「里沼」ストーリーと構成文化財所在地を明示するサインを新設した。板面に詳細ストーリーと構成文化財を掲載し、WEBサイトのQRコードも入込むなど、データ連動ができるよう配慮した。</p>
----	--

(3)館林城跡土橋門サイン改修設置委託業務

日本遺産「里沼」構成文化財のひとつ館林城跡「土橋門」サインを日本遺産「里沼」案内サインとして改修し、QRコードを活用した「里沼」公式Webサイトとの連動による情報発信を図った。



事業費 1,012,220円

9 館林市まちじゅう「日本遺産」PR事業【活用整備事業：文化振興課】

概要

「館林市まちじゅう『日本遺産』PR大作戦」と称し、市内商店街・大型商業店舗及び民間事業者等への幟旗を設置し日本遺産「里沼」をPRするとともに、地域の一体感を醸成する事業を実施した。

(1)日本遺産「里沼」PRバナー製作

「里沼」PRを目的とした背景バナーの製作。メディア向けプロモーション時に使用することでテレビ映像・新聞記事等を通じた「里沼」PRを図った。

■製作:背景バナースクリーン(W1,800×H1,800mm)×2セット

(2)日本遺産「里沼」オリジナルクリアファイル製作

「里沼」オリジナルクリアファイルを作成・一般配布することで、日本遺産「里沼」の認知度向上及び専用QRコードによる公式Webサイト・Twitterへの誘導による認定ストーリー浸透を図った。

■製作:W220×H310mm フルカラー 2,500枚

(3)日本遺産「里沼」PR用ビニール袋製作

日本遺産「里沼」PR用ビニール袋(手提げ袋)を作成することで、「日本遺産」ロゴマークや「里沼」ロゴマークの視認性を高めた。

■製作:W250×H400mm×15,000枚

(4)日本遺産「里沼」ミニ幟旗製作



「里沼」PRを目的としたミニ幟旗の製作・配付。新規構成文化財追加認定をはじめとする構成文化財所有者、管理者・公共イベントへ使用するほか、市内分散型小店舗(食堂組合等)にも設置協力いただき「里沼」PRを図った。

■製作:ミニ幟旗(W100×H300mm)1,200枚+重り付きスタンド1,200個


(5)川魚食文化PRポスター・フライヤー作製




日本遺産「里沼」によって育まれた川魚食文化と市内事業者の職人の技を視覚的に周知するポスター・フライヤーを製作することで、食を通じた「里沼」の魅力をもPRした。

■製作:1)川魚食文化PRポスター B2 フルカラー 300部、2)川魚食文化PRフライヤー A4 片面フルカラー 30,000部

	  
事業費	2,005,500円

10 館林市「日本遺産」Wi-Fi環境整備事業【活用整備事業：文化振興課】

概要	<p>将来的なAR導入に向けて、拠点見学施設へのWi-Fi環境を整備する事業。</p> <p>(1)日本遺産「里沼」ARコンテンツ制作・誘導サイン検討</p> <p>館林市に存在する日本遺産「里沼」構成文化財への来訪者誘致及び市内エリア回遊性の強化を目指し、「里沼」とそのストーリーや魅力の理解促進を図るため、来訪者への情報発信、情報コンテンツ制作・整備をおこなった。次世代の若者の意見・検討を取り入れたうえで、「里沼」の魅力発信や観光・まちづくりの観点から市内の地域活性・観光振興に資するツールを製作するもので、館林市「里沼」の普及促進を図った。</p> <p>■令和2・3年度整備コンテンツ:全10種類</p> <p>[①茂林寺、②上三林ささら、③内陸古砂丘、④多々良沼漁労、⑤城沼3Dマップ、⑥善長寺(つつじが岡対岸)、⑦善導寺(榊原康政お墓)、⑧第二資料館、⑨旧二業見番組合事務所、⑩竜の井・青龍の井戸]</p> <p>■令和4年度新規コンテンツ:全5種</p> <p>[⑪茂林寺沼AR3Dマップ、⑫多々良沼AR3Dマップ、⑬善長寺(祥室院殿の墓、お辻・松女の墓)、⑭旧秋元別邸、⑮東武鉄道館林駅]</p> <p>(2)Wi-Fi環境維持</p> <p>令和元～3年度にかけて整備した、日本遺産「里沼」に位置付けた拠点見学施設等へのWi-Fi環境を維持することで、各所に貼付してあるQRコード等とともに、「里沼」公式WEBサイト上の構成文化財情報検索等の利便性を向上させた。</p> <p>■設置場所:館林市第一資料館、第二資料館、田山花袋記念文学館、多々良沼野鳥観察棟</p>
	
事業費	2,033,823円

<p>概要</p>	<p>(1)「里沼の歴史的建造物」パンフレット印刷 二業見番組合事務所・旧館林藩士住宅・田山花袋旧居・旧秋元別邸など歴史的な建造物にスポットを当てたパンフレットを印刷作成。関連施設に常設することで「里沼」ストーリーの発信に繋げた。 ■発行:6,000部、A5判×16頁(オールカラー)</p> <p>(2)日本遺産「里沼」(もてなし文化エリア)を歩く印刷 館林駅からつつじが岡に及ぶ「里沼のもてなし文化エリア」にスポットを当てた散策マップを新規で作成。「里沼のもてなし文化」の詳細ストーリーと構成文化財を掲載し、WEBサイトのQRコードも入込むなど、データ連動ができるよう配慮した。 ■発行:20,000部、特殊W790×H250mm(折本)×両面(オールカラー)</p> <p>(3)日本遺産「里沼」(守りの沼・城沼)を歩く印刷 日本遺産「里沼」構成文化財のうち「守りの沼・城沼エリア」にスポットを当てた散策マップを増刷。「守りの沼・城沼」の詳細ストーリーと構成文化財を掲載し、WEBサイトのQRコードも入込むなど、データ連動ができるよう配慮した。 ■発行:26,000部、特殊W790×H250mm(折本)×両面(オールカラー)</p> <p>(4)館林市観光ガイドブック(TATEBAYASHI TRIP)印刷 令和元年発行した館林市観光ガイドブック(TATEBAYASHI TRIP)をベースに新たに追加認定となった構成文化財をはじめとする新たなコンテンツを盛り込み、更なる観光客誘致に向けたガイドブックの印刷・発行を行った。当該ガイドブックについては、市内各拠点・店舗等のほか、日本遺産イベント、観光イベント等でも配布している。 ■発行:20,000部、B5判×32頁(オールカラー)</p> <p>(5)里沼サイクリングマップ2種(多々良沼エリア・茂林寺沼エリア)印刷 日本遺産「里沼」構成文化財の「祈りの沼・茂林寺沼エリア」「実りの沼・多々良沼エリア」にスポットを当てたサイクリングマップを新規で作成。日本遺産認定後に新規で整備したレンタサイクルと連携し、利用率の向上を図るとともに、「守りの沼・城沼」エリアの構成文化財を掲載し、WEBサイトのQRコードも入込むなど、データ連動ができるよう配慮した。 ■発行:各5,000部、A4(巻3加工)×両面(オールカラー)</p> <p>(6)里沼サイクリングマップ(城沼エリア)印刷 日本遺産「里沼」構成文化財のひとつ「守りの沼・城沼」にスポットを当てたサイクリングマップを新規で作成。日本遺産認定後に新規で整備したレンタサイクルと連携し、利用率の向上を図るとともに、「守りの沼・城沼」エリアの構成文化財を掲載し、WEBサイトのQRコードも入込むなど、データ連動ができるよう配慮した。 ■発行:5,000部、A4(巻3加工)×両面(オールカラー)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
<p>事業費</p>	<p>2,292,400円</p>

令和 4 年度収支決算報告について

【収入の部】

(単位：円)

科目	補助金交付後 予算額(A)	決算額 (B)	備考
補助金	13,000,000	13,000,000	
国庫支出金	0	0	
市補助金	13,000,000	13,000,000	
貸付金	0	0	
雑入	1,000	7,896	物品販売・預金利息等
合計	13,001,000	13,007,896	

【支出の部】

(単位：円)

科目	予算現額 (C)	決算額 (D)	不用額 (D) - (C)	備考
事業費	12,000,000	11,721,492	278,508	別紙「令和 4 年 度主要事業報 告」のとおり
人材育成事業	1,359,000	1,356,684	2,316	
普及啓発事業	2,594,000	2,591,861	2,139	
調査研究事業	0	0	0	
情報発信事業	2,735,000	2,721,404	13,596	
活用整備事業	5,312,000	5,051,543	260,457	
その他事業	0	0	0	
事務費	1,000,000	965,079	34,921	
貸付金返還費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
合計	13,000,000	12,686,571	313,429	

収支差引額	収入決算額(B)	13,007,896円
	支出決算額(D)	12,686,571円
	差引(B)-(D)	321,325円 ※市へ全額戻入

【参考】市補助金戻入額	【収入の部】雑入	7,896円
	【支出の部】不用額	313,429円
	雑入+不用額	321,325円

監 査 報 告 書

令和4年度館林市「日本遺産」推進協議会の収入支出決算について、館林市「日本遺産」推進協議会規約第7条第3項の規定に基づき、会計諸帳簿及び証ひょう書類を監査した結果、いずれも適正に処理されていたことを確認しました。

令和 5年 5月 24日

館林市「日本遺産」推進協議会

監事 前澤和之 

監事 荒井清範 

報告事項その1

令和5年度事業計画について

期日	事業内容	備考
令和5年 4月1日 ～3月31日	各事業実施 ・人材育成事業 ・普及啓発事業 ・情報発信事業 ・活用整備事業	別紙「令和5年度事業概要（事業費の内訳）」のとおり
6月	第1回館林市「日本遺産」推進協議会 ・令和4年度事業報告について ・令和4年度収支決算報告について	館林市文化会館
10月	日本遺産フェスティバルin八王子 ・PRブース出展及びワークショップ	東京都八王子市
2月	2024日本遺産の日イベント ・PRブース出展 日本遺産「里沼」セミナー ・沼を活かしたまちづくりを担うプレイヤー育成のための講座開催	東京都千代田区 館林市文化会館
3月	第2回館林市「日本遺産」推進協議会 ・令和6年度事業計画（案）について ・令和6年度収支予算（案）について	館林市役所

令和5年度 事業概要（事業費の内訳）

■歴史文化部会 10,000 千円

(1) 「里沼」ランドナビゲーター育成支援事業【人材育成事業：文化振興課】

[概要]

500 千円

既存ガイド団体等と連携しながら日本遺産「里沼」の魅力を発信し、館林市内観光を総合的にプロデュースする人材として育成する事業。令和元年度でインバウンドに焦点を当てたガイド育成講座、令和2年度は里沼ランドナビゲーター育成講座(応用編)・里沼ガイド講習会(茂林寺沼編)、令和3年度は英語ガイド講習会を実施した。令和5年度は日本遺産「里沼」を支えるランドナビゲーターとなる人材を発掘・育成するためのステップアップ講座を開催予定。新型コロナウイルス感染症拡大状況を見極めつつ、観光分野の専門家及び外国人等を講師としてインバウンド対応についての講座や他地域視察等も実施予定。また、コロナ禍におけるもてなしの方法(ナビゲート等)のスキルアップにも取り組むものとする。

(2) 館林市「日本遺産」地域プロデューサー活動支援事業【人材育成事業：文化振興課】

[概要]

1,000 千円

館林市「日本遺産」地域プロデューサーの活動を支援し、情報発信・地域活性化・人材育成・観光・地場産業・歴史文化・地域特色(里沼)における分野の事業展開を促進する。令和元年度の策定した全体計画に基づき、令和2年度以降各分野での事業展開を図りながら、地域住民が館林市「日本遺産」に係る各事業に参加しやすい環境を整える。令和5年度の具体的事業としては、(1)子ども向けの「里沼」体感講座による次世代の担い手発掘・育成、(2)武鷹館イベント開催を通じた来訪者満足度向上と地域活動者層の強化、(3)「里沼」構成文化財案内動画を制作しYouTubeにて公開、(4)里沼のヨシなどを活用した工作教室を開催する。また構成文化財解説動画作成等によりWebを起点とする情報発信活動も実施しながら、Withコロナに対応した柔軟な事業展開を図る。

(3) 官学連携「SATO-NUMA」事業【人材育成事業：文化振興課】

[概要]

500 千円

地元高校・大学(学生・留学生)と連携し、若者・外国人の意見を反映させながら、解説方法・内容を皆で検討するワークショップを開催する。当該ワークショップには地元ガイド団体等も参画し、館林市「里沼」の魅力を伝えるガイド人材の充実を図る。ワークショップは令和元年度に『城沼』、令和2年度に『多々良沼』、令和3年度に『茂林寺沼』、令和4年度に『もてなし文化(前半)』で実施し、日本遺産「里沼」ストーリーの理解度及び来訪者満足度向上のための各沼周辺散策マップ原案作成を行った。令和5年度では『もてなし文化(後半)』及び『近藤沼・蛇沼』をテーマにワークショップを行い、その成果をもとに引続き周遊マップの印刷作成にも取り組むものとする。

また、小型電動ヴィークル等を活用した「里沼」(当面は沼ごと)の周遊ツール創出の検討を行う。

(4) 館林市「日本遺産」展示会開催事業【普及啓発事業：文化振興課】

[概要]

1,000 千円

館林市「日本遺産」シンポジウムに合わせて日本遺産「里沼」展示会を開催する。また、近隣・首都圏でのPR展示会開催[浅草駅、スカイツリー等]や館林市内巡回展[学校・公民館等公共施設]も引続き実施し、日本遺産「里沼」の普及啓発による知名度向上・ストーリー浸透の強化を図る。展示会開催方法及び内容については、新型コロナの収束状況を考慮しながら、検討・部分変更等も行うことで、柔軟に事業展開を図る。

(5) 館林市「日本遺産」シンポジウム開催事業【普及啓発事業：文化振興課】

[概要]

2,000 千円

近隣認定自治体やストーリーに関連のある自治体と連携して令和元年度に「日本遺産」シンポジウム、令和2年度以降両毛3市(桐生市・足利市・館林市)による日本遺産認定地連携シンポジウムを実施した。令和5年度では、3市連携のより具体的な動きに向けての検討を行う。また、日本遺産「里沼」セミナーを開催し、沼を活かしたまちづくりを担うプレイヤー育成へと繋げる。セミナー開催にあたっては、新型コロナウイルスの収束・終息状況を見つつ、オンライン会議等への代替も検討するものとする。

《日本遺産「里沼」セミナー》

会場:館林市文化会館小ホール

参加者:100名予定

(6) 館林市「日本遺産」Webサイト開設事業【情報発信事業：文化振興課】

[概要]

500 千円

館林市「日本遺産」Webサイトを開設し、ストーリーや構成文化財の諸情報のほか、観光やアクセスマップ及び利便施設などの関連情報を公開し、国内外に向けての積極的なPRを行う事業。単なる開設に留まらず、動画配信や多言語対応化に重点を置くもの。特に来訪予定者の「旅マエ」での事前期待や動機付けの増大を目的とし、SNSとリンクしたサイトの整備を進める。また外国人来訪者のターゲット層を絞り込みながら、欧州「EUROPEAN ROUTE INDUSTRIAL HERITAGE」等のサイトを参考に、VR等の整備や素材集約に努める。さらに情報発信が弱い民間事業者なども取り込み・支援するかたちで館林市「里沼」の情報を一括発信できるサイトの構築を目指す。令和5年度は、過去に積み上げてきた内容を継続・発展させ、各コンテンツの強化や画像・動画更新、取材記事導入による旅マエ誘客の充実、リピート増加のための旅アトコミュニケーションツールの導入に取り組む。また、新たにWebサイト上にオンラインコミュニティページ((仮称)里沼研究所)を設け、「里沼」事業に関するユニークなアイデアの募集や蘊蓄の蓄積など、市内外の多様な層の「里沼」への親近感や事業への参加意識・主体性の向上に繋げる。

(7) 館林市「日本遺産」案内板・サイン整備改修事業【活用整備事業：文化振興課】

[概要]

1,000 千円

来訪者の多いつつじが岡公園をはじめとする「里沼」全エリア(市全域)において、「里沼」ストーリー案内サインを設置。案内板デザインは大学等と連携し進める。
また、来訪者の多いつつじが岡公園をはじめとする里沼のもてなし文化エリア(館林駅～つつじが岡公園区間)において、「里沼」誘導サインを設置する。

(8) 館林市まちじゅう「日本遺産」PR事業【活用整備事業：文化振興課】

[概要]

1,500 千円

「館林市まちじゅう『日本遺産』PR大作戦」と称し、市内商店街・大型商業店舗及び民間事業者等への幟旗・タペストリー・ステッカーを設置し「日本遺産」をPRするとともに、地域の一体感を醸成する事業。各媒体にQRコードを貼付し、来訪者の「いいね」や感想等による口コミ効果も狙う。また、経年劣化等による補充や新規協力団体への追加。また、地方紙と連携し、マイクロツーリズムを意識した効果的な「里沼」ストーリーの普及啓発を実施する。公式WebサイトやTwitter用ステッカーを作成することで、来訪者に対しリアルタイムでの情報提供に繋げる。

(9) 館林市「日本遺産」AR・Wi-Fi整備事業【活用整備事業：文化振興課】

[概要]

2,000 千円

各沼の拠点施設に設置したWi-Fi環境を維持するとともに、「日本遺産」ストーリー情報入手を目的として導入したARコンテンツ内容をより充実させ「里沼」ストーリーの理解促進を図る。ARアプリのスタンプラリー機能を活用し、各沼の周遊性を高めるコンテンツの作成を行う。日本遺産認定以降、大学(東京電機大学)関係事業者と連携し過去4年間AR事業を実施してきた。令和5年度は、新たなコンテンツの追加(旧秋元別邸、館林駅等)やスタンプラリーの実施により、利用者の満足度向上へと繋げる。

■観光産業部会

2,000 千円

(1) 館林市「日本遺産」パンフレット作成・多言語化事業【情報発信事業：つつじのまち観光課】

[概要]

2,000 千円

官学連携SATO-NUMA事業にて原案を作成した「里沼のもてなし文化」を歩くパンフレットを印刷発行し、里沼周遊満足度の向上を図る。令和元年度つつじのまち観光課にて作成したパンフレット「TATEBAYASHI TRIP」の在庫状況により、修正版の増刷も検討。合わせて多言語化(タイ語・スペイン語)に取り組むことで、インバウンドも含めた観光誘客を促進するものとする。
また、令和3年度日本遺産「里沼」構成文化財に追加認定となった『蛇沼』・『近藤沼』にもスポットを当てた周遊マップの印刷・発行を行う。

令和5年度収支予算について

【収入の部】

(単位：千円)

科目	本年度当初 予算額(A)	前年度当初 予算額(B)	比較増減額 (A)-(B)	備考
補助金	13,000	13,000	0	
国庫支出金	0	0	0	
市補助金	13,000	13,000	0	一部中央信用金庫からの寄附金充当
貸付金	0	0	0	
雑入	1	1	0	預金利子等
合計	13,001	13,001	0	

【支出の部】

(単位：千円)

科目	本年度当初 予算額(C)	前年度当初 予算額(D)	比較増減額 (D)-(C)	備考
事業費	12,000	12,000	0	別紙「令和5年度事業概要（事業費の内訳）」のとおり
人材育成事業	2,000	1,800	200	
普及啓発事業	3,000	2,200	800	
調査研究事業	0	0	0	
情報発信事業	2,500	2,500	0	
活用整備事業	4,500	5,500	△1,000	
その他事業	0	0	0	
事務費	1,000	1,000	0	報償費、旅費、通信費等
貸付金返還費	0	0	0	市貸付金返還
予備費	1	1	0	
合計	13,001	13,001	0	

